

2月22日～3月24日
2月市会
の報告 **前半****平成28年度補正予算等を可決**

2月22日の本会議では、市長から平成29年度当初予算を含む81件の議案が提出されました。このうち、平成28年度一般会計補正予算案ほか9件の議案を予算特別委員会に、その他1件の議案をまちづくり委員会に付託し、詳しく審査しました。その後、3月1日の本会議で、一般会計補正予算案ほか1件について、平成28年度に削減した議員報酬をその財源として活用する修正案を可決し、残る9件は原案どおり可決しました。

審議結果のポイント

補正予算総額49億5,800万円について審議
補正予算の財源に、削減した議員報酬を活用!

平成28年度補正予算として、緊急待機児童対策事業3,760万円、水垂運動公園(仮称)整備事業PFI導入可能性調査600万円、中央市場(第一市場)施設再整備事業18億8,700万円など、総額49億5,800万円が提案されました。

このうち、社会福祉事業の財源の一部として、平成23年度以降

10%削減を継続している議員報酬の平成28年度削減分7,700万円を活用する修正案について、議員全員で提案のうえ全会一致で可決し、残る補正予算案は原案どおり可決しました。この修正案により、補正予算の財源となる社会福祉事業基金の当初取崩し予定額を減額し、市の貴重な「貯金」の減少を抑えることができました。

議員報酬を財源に活用した事業

- 国単価改定に伴う子どものための教育・保育給付等の増額
1億6,720万円
- 障害児施設給付費
1億3,080万円
- 障害者自立支援給付費
6億2,840万円



財源

社会福祉
事業基金

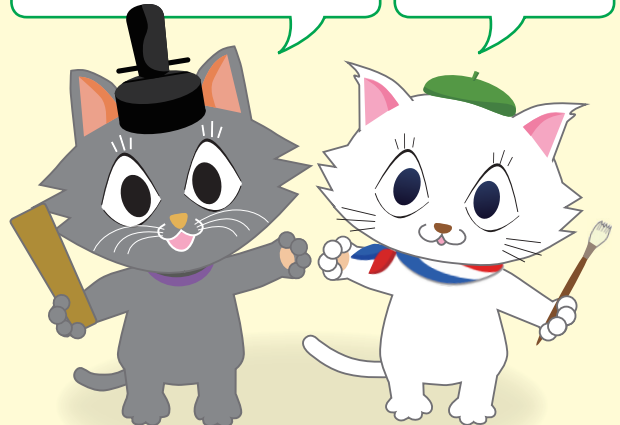
国庫支出金

府支出金

計
9億2,640万円削減した議員報酬
7,700万円を活用!

カットした議員報酬を補正予算の財源として活用することで、社会福祉事業基金からの取崩し額を減らしたんだ!

「基金」つまり「市の貯金」が減ることを抑えられたのね!

京都市会マスコットキャラクター
またきち マタリーヌ市会からの
忠告です!**付帯決議**を付けました!

ワンポイント 付帯決議とは…可決された議案に付ける、市会から市長への意見や要望のことです。

一般会計補正予算(国庫支出返還金・再生可能エネルギー等導入推進基金 1億2,300万円)

付帯決議 (要旨) 再生可能エネルギー等導入推進基金事業※について、国からの補助金を十分活用できず残余金を返還することになったが、3年間もの間、事業の推進状況について議会への報告がなかった。今後は全庁が議会と課題意識を共有して事業実施の推進にあたること。

※東日本大震災等を契機に創設された、「災害に強く、低炭素な地域づくり」を展開するため、避難所や防災拠点等への再生可能エネルギーの導入を支援する事業

南部クリーンセンター第二工場(仮称)新設工事請負契約の変更等

付帯決議 (要旨) 南部クリーンセンター第二工場建替え工事において、新たに土壌汚染対策を行うべき箇所が見つかったため工事が遅れ、当初より**23億円もの費用が増加**している。今後は土壌汚染が想定される工事においては、**事前に必要な調査を行い、事業計画を作成すること。**

>> そのほかの議案や審議結果、付帯決議の全文などは、市会ホームページへ!

今号では、2月市会前半(2月22日～3月1日)の審議結果等についてお伝えしています。平成29年度当初予算案等の委員会での審査等が行われた2月市会後半(3月2日～3月24日)の内容や、全議案の審議結果については、市会だより第87号(平成29年5月15日発行)で詳しくお伝えします。

主な代表質疑を
2・3面で
紹介します!

2月28日・3月1日の本会議で
16名の議員が代表質疑を行いました!

代表質疑とは?

本会議で提出された議案について、議員が各会派を代表して提出者に対する質疑を行うことです。2月市会では、例年、翌年度の当初予算案を中心に、市長等に対する代表質疑を行います。